厳しい冬が過ぎ、正門の桜の花が春風に舞う中、今年も、この北千里高校に、希望に満ちた新入生を迎える季節が巡ってまいりました。只今、入学を許可いたしました三百二十名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を私たち教職員一同、こころから祝福し、歓迎いたします。

また、本日は、ご多用中にもかかわらず、ご来賓の皆様、保護者の皆様のご臨席を賜り、令和六年度大阪府立北千里高等学校四十七期生の入学式を挙行できますことは、私ども関係者一同、大きな喜びであり、高いところからではありますが、ご臨席を賜りました皆様に、心より御礼申しあげます。

さて、四十七期生の皆さん、今日から三年間の高校生活がスタートします。その最初にあたり、皆さんに、意識をして心掛けてほしいことを二つお話しします。

　まず、一つ目は、「挑戦しつづけるこころ」について。

受験という大きな壁を乗り越え、晴れて本校に入学した皆さんは、今大きな期待に胸ふくらませ、不安もあるでしょうが、いろんなことに思いを馳せていることでしょう。言いかえれば新たな「志」を持っているということですね。

　私も大学を出て、教員となり今がありますが、振り返ってみれば、高校時代に多くのことを経験したこと、特に歯を食いしばって必死で努力したことが、今の自分を支えていると思います。決してあの時代に戻りたいとは思わないくらい、失敗も数多く、でもやって良かったなあと思えた高校生活を過ごしました。

　ここ北千里高校でも高校生活はとても充実していると思います。いや、ここから始まる三年間は時間の流れが早く、あっという間ではないかと思いますが、何にでもチャレンジする心を持って挑んでほしいと思います。

そこで、お願いです。

　何でもやることには結果があって、うまくいくこともあれば、そうでないこともあります。

失敗は誰しも望みませんが、やってみなければ成功にも失敗にも到達しません。

「出来ないから、やらない」ではなく、「出来ないからこそ、やる」という心、つまり、あきらめずに挑戦しつづけるこころを育んでください。

今年、ドジャースに移籍した大谷翔平選手は今や、大リーグを代表する素晴らしい選手となりました。日本のプロ野球でプレーをしていた彼は、自身の強い希望によって２０１８年、アメリカに渡り大リーグに挑戦することになります。

当時、日本では「二刀流」として「二けた勝利」「二桁本塁打」を達成し、リーグMVPにも選出されていた彼でしたが、多くの専門家や関係者は、「メジャーの高いレベルでの二刀流は難しいのではないか」と言いました。

所属チームの栗山監督も心配し、「アメリカに行かなくてはいけないのか」と尋ねたと言います。その質問に対する、彼の答えは、こうでした。

「成功するとか失敗するとかは僕には大きな問題ではありません。やってみるということが大事なんです。」つまり、彼にとっては、結果よりも、チャレンジする楽しさの方が大切なことだったのです。彼が超一流の選手になれたのは、たぐいまれな能力が備わっているからには違いありません。しかし、この考え方があるからこそ、その素質が大きく開花をしたのだと思います。

人間は「夢」がある限り前に進むことができます。

「夢」に向かって進むのに、時にはゆっくり進んだり、ちょっと休憩しても構いません。結果がすぐ出なくても構わないのです。でも、あきらめだけはしないでください。

壁にぶつかり、くじけそうになるときもあるでしょうが、どうぞ、ここ北千里高校で出会った素晴らしい仲間と授業や学校行事・部活動などで互いに高めあい、刺激を受けながら、「志」を高く持って、いろんなことに挑戦し、一人では乗り越えられない壁を乗り越えていってほしいと思います。

二つ目は、「自己を磨くこころ」。

本校に入学した仲間はみなそれぞれ違った個性を持っています。言い換えれば、学校というオーケストラに一人ひとりがルーツの違う楽器を持ち込み、心を一つにして素敵な演奏をするようなものです。各自が自分の最高の音色を奏でられるよう日々努力しながら、自分の役割も見つけます。こうした中で奏でる音色で演奏ができたとき、人は「成長」したといえるでしょう。

また、一人ひとりは異なった存在として認められるためには、適当に手を抜けば、全体のバランスが崩れ、うまくいかなくなるということをしっかり意識し、共に学ぶ仲間の努力する姿やいま一歩踏みだせないでいる仲間に思いを寄せ、ともに支えあいながら素敵な学校生活を皆さん自身が作り上げていってほしいと思います。そのために、人と繋がり人と心通わせる体験を数多く積み、自分磨きをしてほしいと思います。綺麗に光り輝くダイヤモンドも、磨かなければただの石です。一人ひとりは素晴らしい原石なのです。

自分にないものを友から学び取り、困難なことや壁にぶつかったときには、友人同士、お互いの弱みを補い合い、助け合って、進んでいき、互いを高め合う真の友人をつくり、かけがえのない「絆」を結んでいきましょう。

さて、保護者の皆さま、改めましてお子様のご入学を心よりお祝い申し上げます。今日まで限りない愛情を持って育ててこられ、時にはご心配やご苦労があったことと思います。お子様の高校生活が健康で有意義なものとなるよう教職員一同、教育に情熱を傾け邁進する覚悟でございます。卒業までには、厳しいこと、つらいこともあるかと思います。そのような時、皆様方のあたたかいご支援ご指導が、何よりもお子様の励ましとなり、一人ひとりが心身共に豊かに成長して参ります。ご家庭におかれましても、お子さまと話す機会を多く持たれ、お子さまの思いを理解し見守っていただくことが、豊かな人生に導くことになると信じております。何卒ご理解を賜り、ご協力頂きますようよろしくお願い致します。

　最後に、新入生の皆さんの高校生活が、楽しく、充実したものになりますよう　祈念して、式辞といたします。

　令和六年四月八日

大阪府立北千里高等学校長

田尻　由美子